

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日: 令和 6年 4月 30日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	<input checked="" type="radio"/>	小規模多機能型居宅介護	<input checked="" type="radio"/>	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
	(介護予防)認知症対応型共同生活介護			
事業所番号	4490300243			
事業所名	小規模多機能施設 さわらび			
法人名	社会福祉法人 聖信会			
代表者名	理事長 松尾 慶一			
事業所所在地	(〒 879- 0103) 大分県中津市大字植野 1278 番地 1			
担当者名	野依 宇佐美			
連絡先	電話	0979-33-1300	mail	shotaki1@sawarabiansy.or.jp
	FAX	0979-33-1110		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 6年 3月 31日
-----------------	--------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表

看護小規模多機能型居宅介護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表

(介護予防)認知症対応型共同生活介護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール…………… 公表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	0人	0人	6人

前回の改善計画

- ① 新規利用者の情報確認はフェイスシートだけでなく、ミーティングを主に会議を行い利用者の背景を確認し情報共有していく。ご家族のサポートについては、不安や要望などを言われた場合に職員間で情報の共有を行い、統一した対応ができるようにしていきたい。利用中のご利用者の様子なども丁寧に伝え、家族との信頼関係の構築に努めていく。コロナ禍で感染予防対策を取りながら理解を求めていく。
- ② 小規模さわらびの1日のタイムスケジュールの見直しを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ① 感染予防に留意しながら、利用者・家族の情報共有を行った。信頼関係の構築に繋がった。
- ② タイムスケジュールの見直しを随時行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	3			6
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	3			6
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	3			6
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	3			6

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ① 新規利用者は会議やフェイスシートでの情報共有をしている。
- ② 申し送りノートや朝礼等利用者・家族についての情報共有をしている。
- ③ 送迎時や適宜電話等通じての家族との連携、情報共有をしている。
- ④ 家族のサポートについては不安や要望などがあつた際に職員間で情報共有できている。介護・看護と連携し病状悪化や皮膚トラブル等、連絡ノートや対面で共有できている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ① 新規利用者の性格や現状の問題点まで踏み込んだ情報共有までは不十分であった。
- ② カンファレンスの時間があまり取れていないのが現状。
- ③ 一日の流れの中で、十分な声掛けや気遣いはできていない。
- ④ 利用者・家族に寄り添ったコミュニケーション、ニーズの把握が不十分であった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

カンファレンス・ミーティングの時間の確保を十分に行い、新規利用者、家族のサポートを行う上の情報共有を密に行っていく。利用者だけではなく、家族との関わる時間の確保も実施し、信頼関係の構築に努めていく。また利用者・家族との関わり方の時間確保の為、一日のタイムスケジュールの見直しを随時行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	2人	0人	6人

前回の改善計画	<p>① 一人一人のやりたいことの目標がつかめるように、ご利用者とのかかわりを密にして、それを個別支援計画に反映させ実践していく。</p> <p>② ご利用者の担当制を試験的に行ってみる。その後、総合マネジメントに繋げるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>① 感染対策などにより密な関わりができておらず、十分な個別支援を行えていない。</p> <p>② 職員の離職等で担当制はできていない。限られた職員ではミーティングの時間が取れないことが多かった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	3		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3	3		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	3		6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	各利用者様のはっきりとした～したいとの発語はあまり聞き取れていないが (当面、ゴール共に) 健康でありたいとの大まかな目標を目指し日々のレク等での関わりに反映している。
②	利用者との交流の時間や会話の中で情報収集し把握に努めている。
③	本人の当面の目標「～したい」を毎日探している。
④	在宅での暮らしを少しでも長く続けられるよう、自立支援、できる事・できない事、支援が必要な事を職員間で共有できるようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	全員のゴール (声なき声) に寄り添えておらず、個別の対応が不十分。
②	本人の当面の目標を目指した日々の理解が不十分。
③	本人の当面の目標を目指した日々の関わりが不十分。
④	ミーティングの時間内だけでは全利用者様についてのゴール、支援まで話せていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者・家族との関わりを密にして、一緒に目標を探すことにより、個別支援を行っていく。また、利用者の担当制を行い、カンファレンス・ミーティング・朝礼などにて情報共有を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	2人	0人	6人

前回の改善計画	ミーティングでの言語化が(利用者の声にならない声)できていないのは、日々の業務におわれ情報共有する機会を作れていないこともあるため、今後は業務の効率化をはかり個別カンファレンスを定期的に行う。また、利用者の生活背景を理解できるように昔の生活や思い出を聞くなどコミュニケーションを多く取り、個別ケアが出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	業務の効率化は進んでいないが、感染予防を行いながら利用者理解に努めている。利用者の情報共有はミーティング、カンファレンスにて行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	2	1	6
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	3			6
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	1	1	6
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	3			6
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	3			6

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①	10個以上の暮らし方の情報の把握はできていないが、把握しようと関わりを持っている。
②	本人の状況に合わせた食事、入浴、排泄等基礎的な介護も統一ケア出来ている。
③	利用者との談話の中から以前の暮らしや気持ち、又表情や様子から体調の変化に気づき、職員間で口頭や申し送りノート、ミーティング、毎日の申し送り等で情報共有出来ている。
④	様子観察が必要な時は介護・看護で連携している。
⑤	日頃から利用者の変化に気づけるよう努めている。

できていない点	200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること
①	10個以上の暮らし方の情報の把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
感染予防・人員不足による業務の効率化が進んでいない。十分なミーティング、個別カンファレンスの時間が取れるよう体制作りを行っていき、利用者の生活背景を理解し、個別ケアができるよう努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	3人	0人	6人

前回の改善計画	自助・共助・公助を使い分けて高齢者が生活できるよう支援していく。その為どんな支援体制が必要かを知り、協力体制作りに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治会の定例会に参加や近所の方々への声掛けを行い、協力体制作りに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	2		6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	2	1	1	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	2	2		6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2		3	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	事業所が直接接していない時間、ご本人がどのように過ごしているかある程度把握している。
②	ご本人と家族や地域との関係が切れない様にある程度支援出来ている。
③	ご本人のこれまでの生活スタイル、人間関係にある程度把握できている。ミーティング、日々の訪問や通い時に声掛けし把握に努めている。
④	民生委員の訪問時、近所の方々への挨拶を心がけている。近所の方が通い日などを声掛けあり。家族ができることはお願いしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
② ④	民生委員や地域資源等の把握、支援体制や、地域の方々への連絡に不十分な点があった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自助・共助・公助の理解を深め、地域の方々や利用者・家族との交流の機会を作っていく。地域にどのような資源があるかの把握・協力体制作りを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	0人	2人	6人

前回の改善計画	人員不足が大きな課題である。人材が確保できれば安定した運営をして行く事ができる。スタッフの働きがいを作り・働きやすい職場環境作り、スキルアップのための学習会・研修会を計画していく。人材確保と仕事に対するやりがい作り。地域資源について学習会を計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	人員不足の解消には至っていない。急な泊りの依頼には対応困難な時があるが、現在の人員配置でできるだけ受け入れを行っている。スキルアップのための学習会・研修会は感染予防を行いながら実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	3	1	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		6			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	3			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	3			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	地域の配食サービス利用、民生委員の訪問、緊急電話設置、社協の安心ネットを利用。
②	なんとかニーズに応じて「通い」「訪問」はできている。宿泊は可能な限り行っている。
③	日々のかかわりや記録から本人の変化に気づき、ミーティング等で情報共有・申し送りノートの確認・不明な点は口頭で指示を仰いでいる。
④	その日、その時のご本人に合わせた柔軟な支援。緊急性があれば主治医に連絡し対応。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	地域の資源の把握を職員全員はできていない。
②	人員不足の為、急な泊りの対応ができていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
人員不足により安定した運営が出来ていない。安定した地域への支援を目指し、人材確保に尽力する。職員の地域の資源の理解、スキルアップの為の学習会を計画し行っていく。また家族の背景、仕事の勤務時間の把握、協力態勢の把握を行うことで家族の支援も行い、柔軟な支援を行えるように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
6. 連携・協働	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	3人	3人	6人

前回の改善計画	コロナ禍で昨年は殆どの行事が中止されていたが、令和5年度は地域との交流を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染予防を行いながら地域の行事参加やオレンジカフェの開催を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		2	2	2	6
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			1	5	6
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1		2	3	6
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	2	2	6

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①	利用者についての変化や相談があれば、その都度他事業所と連携を行い、会議を行っている。
②	感染対策を念頭におき、地域との交流や自治会の会議に参加している。
③	自治会のイベントや避難訓練の活動に参加している。
④	近所の保育園の園児が踊りの披露やコミュニティカフェを利用される方々と交流がある。

できていない点	200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること
①	サービス担当者会議を中心とした会議しか行っていない。
②	地域包括支援センターの会議に参加できていない。
③	地域の活動やイベントへの参加の回数が少ない。リモートでは参加している。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の活動やイベント・自治会・地域包括支援センターなどの取組の内容・日程を把握し、積極的に参加する。地域住民の理解を得るため、小規模多機能施設の役割を宣伝していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
7. 運営	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	4人	0人	6人

前回の改善計画	次年度も同様に、地域の出来事や行事などに可能な限り積極的に参加し、情報共有できるようにしていきたい。利用者及び家族、地域から苦情が出た場合は、直ぐに会議を開き対策を実施する。 今後、地域の交流会参加を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染予防を行いながら、地域の自治会や民生委員の研修会に参加することで地域の取組の理解、情報共有に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		4	2		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4			6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4			6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	4		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ユニット会議等で事業所のあり方について各職員に意見を聞き、何かあれば直ぐに対応している。
②	利用者様、家族、地域の方々からの意見・苦情を朝礼、申し送り等で情報共有、運営に反映業務上の問題が発生した場合は各職員に意見を聞いている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	事業所のあり方について、職員全員に浸透できていない。
②	利用者・家族からの意見を全て反映はできていない。
③	地域に必要とされる拠点になっておらず、意見を聞く仕組みができていない。
④	地域と協働した取組みは感染予防対策の為あまり実施できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
感染症対策で開かれた運営ができていないが、可能な限り地域の行事に参加することで交流を深め、地域に必要とされる拠点を目指していく。利用者・家族・地域からの意見や苦情は直ぐに反映し、協働した取組みを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	0人	0人	6人

前回の改善計画	ヒヤリハットやアクシデントが起こる背景等を具体的に振り返り検証し、再発しないように対応する。事故防止委員会への報告や対策の共有を図る。外部研修等に積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	リスクマネジメントの研修に参加し情報共有を行い、毎月実施している事故防止委員会への報告・対策の検討を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	2			6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2		6
③	地域連絡会に参加していますか	2		1	3	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	3			6

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①	研修(職場内、職場外)実施、参加をしている。
②	資格習得、スキルアップの為の研修参加をしている。
③	感染予防対策を行いながら地域連絡会に参加できている。
④	リスクマネジメントへの取組み(報告書の回覧・確認を行い、ヒヤリやアクシデントを未然に防ぐように取り組んでいる)

できていない点	200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること
①	感染予防のため、職場外の研修は全員の参加はできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
積極的な研修参加によりリスクマネジメントの理解を深め、ヒヤリハットやアクシデントを未然に防ぎ、再発しないように対応する。地域連絡会に参加し、情報共有を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 2月 26日 (18:00~19:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	朝田・中尾・中野・東・藤川・園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	5人	0人	6人

前回の改善計画	次年度も、成年後見制度や、個人情報保護法に関する勉強会を計画する。必要な方には成年後見制度の活用につながるように支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修・勉強会を実施し、成年後見制度や個人情報保護法の理解を深めた。成年後見制度の活用までの機会はなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	6				6
② 虐待は行われていない	6				6
③ プライバシーが守られている	5	1			6
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		2	4		6
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4	1	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 勉強会を行い、身体拘束排除の取組ができている。	
② 勉強会を行い、虐待防止の取組ができている。	
③ 入浴時や排泄時など、どのような場面でもプライバシーに配慮している。	
④ 成年後見制度の理解を行い、必要な方に活用できるようにしている。	
⑤ 契約時より適正な個人情報管理を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④ 成年後見制度活用の機会がなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度、個人情報保護法の研修・勉強会を積極的に行いどのような場面でも対応できるようにする。必要な方には成年後見制度の活用につなげる。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人聖信会	代表者	松尾 慶一	法人・事業所の特徴	2020年11月開設・小高い丘から田園風景の広がる場所に、グループホームと併設した、25名が定員の小規模多機能施設である。少人数制の施設の特徴を生かして、利用者一人一人の個別性を考えた支援を計画し運営している。またオレンジカフェの開催場所として地域のかたに施設を提供している。
事業所名	小規模多機能施設 さわらび	管理者	野依宇佐美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	2020年11月開設。少しずつ地域の方々に周知されてきている。小規模多機能施設の特徴をいかし、身近な存在で顔なじみの関係作りをしている。	令和6年度より、オレンジカフェの開催の実施等により、少しずつ地域の方々に周知されてきています。今後も身近な存在としての関係作りを継続する。	明るい雰囲気の中で、高齢者の生きがい作りを目標に支援している。大きな声で声掛け優しく馴染みの関係作りをしている。	定期的な研修会・ミーティングの機会を増やす。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設で過ごす利用者の快適な環境づくりに努める。ゆったりとした時間が過ごせるスペースを提供する。	季節毎に利用者と共に作成した貼り絵を掲示し、利用者の思い出として、写真等、ご家族に見て頂く事の実施できた。	中津今津駅を中心に、静かな住宅街にあり、少し小高い丘の上にグループホームと併設して建てられている。	活動していく中で高齢者のニーズに合った施設環境が快適であるように随時模索していく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の住んでいる地域に本人の生活を支えるための、地域のサポートを探しそれを活用できるように支援する。	利用者の知り合いの方の協力を頂き、その方の暮らしを支える事ができた。今後も近隣支援者との連携に務める。	コロナ禍で地域行事も制限があり。地域の有償ボランティア団体などの協力を受け高齢者を支援している。	利用者の住んでいる近隣にどんな支援体制があるかを、常に情報を把握していく。また必要なサービスを作る支援をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を開催するための事業所としての協力体制を維持していく。	運営推進会議への参加により、事業所の状況や運営等、第三者委員に報告、評価を頂いた。	今年度より、運営推進会議も書面ではなく開催されるようになり、第三者評価を直接いただく事ができた。	今後も定期的な運営推進会議への参加を予定していく。
F. 事業所の防災・災害対策	中津市の防災計画を理解し、地域の方の、避難場所の役割を持つ。火災訓練は年2回実施している	夜間想定火災避難訓練等実施できている。避難場所として役割を担う為には地域の方との合同避難訓練も今後は取り組みたい。	組織内だけでの災害・防災訓練でなく地域の防災計画を知ることが大切、災害時の避難場所としての自覚を持つべきかと思う	地域の災害・防災計画を知る機会を持つ